親子で楽しみながら生きる力を育む　防災キャンプ







11月2日、3日、西谷公園で、「楽しみながら生きる力を学ぶ、広陵ファミリー防災キャンプ」が開催されました。

主催されたのは、お米作りを通して世代間交流を行う「箸尾おこめくらぶ」さんと、子どもの居場所づくりを行う「駄菓子屋にしやん」さんです。

きっかけ

今、子育ての中ではとても難しい現実が家族それぞれにあります。

日常ではなかなか味わえない体験を通して、「問題解決に向かう」、「またやればできる！」ということを知ってほしいと思い計画しました。

当日は

当日の天気予報は大雨予想でしたが、参加予定の16組40人全員参加で始まりました。

はじめて会う人たちと過ごすことに不安そうだった子どもたちも、すぐに友達を見つけたり、自分の意見をしっかり伝えて行動するなどの姿がありました。

防災士ネットワークと真美一まちづくり協議会に協力をしていただき、西谷公園管理事務所では、テントの設営、防災チャレンジタイムにはダンボールベッドの組み立てなどを行いました。

その後、楽しみにしていた夕飯作りでは雨も上がり、ボーイスカウトの皆さんが工夫をこらした炊事場で、料理が始まりました。





ほとんどの子が、薪割りも火おこしも初体験で、おそるおそるチャレンジしていましたが、できた時には歓声が上がり、「楽しい、もっとしたい」という声がたくさん聞こえました。できあがったカレーは絶品だったようです。

食事後は、畿央大学の学生さんによるキャンプファイヤーが行われ、みんなで踊ったり、歌ったりと笑みが溢れました。保護者からは「家で息子とはこんなに喋らない。今日はたくさん会話ができてとても嬉しい」との声が印象的でした。

夜は、雨上がり後で諦めていたテントでの宿泊も行うことができました。

防災キャンプを通して

この2日間のドキドキ、ワクワクの体験が、子どもたちの中に残って、一つの成長につながれば良いなと思います。

保護者の方には、周りの人たちと共に育ち合う子育て環境をつくっていく一つのきっかけが、この防災キャンプになれば良いなと思います。



楽しみながら考える力、生きる力が育まれるのが素敵ですね！

このイベントは町の「協働のまちづくり提案事業補助金」が活用されています。